

2005年6月6日

報道各位

住友金属鉱山株式会社
住友商事株式会社

セロ・ベルデ銅鉱山資本参加における出資比率の確定について

住友金属鉱山株式会社（本社：東京都港区 社長：福島 孝一）と住友商事株式会社（本社：東京都中央区 社長：岡 素之）（以下両社をあわせて「住友」という。）は、フェルプス・ドッジ社（本社：米国アリゾナ州フェニックス市）およびブエナベンチャー社（本社：ペルー共和国リマ市）との間で、セロ・ベルデ銅鉱山（ペルー共和国アレキーパ州）への資本参加につき、本年3月に本契約を締結し増資手続きを進めてまいりましたが、このたび住友の出資比率が21%で確定いたしました。住友側の出資額は265百万ドルで、住友金属鉱山と住友商事の出資割合は、8対2です。

セロ・ベルデ銅鉱山を保有するセロ・ベルデ社は、これまで米国最大手の産銅会社フェルプス・ドッジ社が82.5%、ブエナベンチャー社が9.2%、一般株主が8.3%の株式を所有していましたが、今回の住友の資本参加および既存株主の増資引受けにより最終的な出資比率が確定し、住友以外の出資比率は、フェルプス・ドッジ社が53.6%、ブエナベンチャー社が18.2%、一般株主が7.2%となりました。

セロ・ベルデ社は、SX/EWプロセスにより電気銅を年間約9万トン生産しておりますが、約850百万米ドルの開発費で、現在採掘中の酸化鉱床の下部にある硫化鉱床の開発を実施いたします。住友の出資金は、この開発費に充当されます。2006年第4四半期の銅精鉱の生産開始、2007年前半のフル生産達成（年間生産銅量約18万トン）に向けて本格的な建設工事を進めていく予定であり、住友は、生産される銅精鉱の50%を10年間にわたって買い取る権利を保有することになっております（11年目以降は出資比率見合いでの引取り権を有す）。

住友としては今後ともセロ・ベルデ銅鉱山における硫化鉱開発プロジェクトの円滑な操業開始に向けて全力を傾注してまいります。

（本件に関するお問い合わせ先）

住友金属鉱山株式会社

総務部広報室 広報統括課長 高橋 雅史

TEL：03-3436-7701

FAX：03-3434-2215

住友商事株式会社

広報部 報道チーム 上田 昌彦

TEL：03-5166-3096

FAX：03-5166-6203

以上